



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



親子でジオサイト

～晴天の下、充実した活動となりました～

9月8日(日)、「親子でジオサイト」を実施しました。今年度は砂丘コースを加え、4コースでの実施となりました。

各コースにガイドの方々がつき、それぞれの場所の成り立ちや伝説などを聞きながら見学しました。

地域を見直そうという目的で始め、今年で4年目です。今年も新たな発見があったことと思います。保護者の皆様にも多数参加していただきました。ありがとうございました。案内して下さったガイドの皆様にも感謝申し上げます。

海岸線コース

鹿の浦展望台から海岸線の様子を見学した後、柱状節理の上を歩きました。最後は、白瀑の水しぶきを浴びて、涼をとりました。



留山コース

ブナの原生林を散策しながら、ブナの木やその他の植物について、詳しく教えていただきました。山は涼しくて気持ちよかったです。



三十釜コース

ぶなっこランドで説明を聞いた後、散策しました。ガイドさんから散策路周辺の植物について、ていねいに教えていただきました。



砂丘コース

ガイドさんから、ポンポコ山の砂丘は、縄文時代から江戸時代にかけて、長い年月の中でつくられたことを教えていただきました。



MOA美術館能代・山本児童作品展

【絵画の部】

八峰町長賞	6年	佐藤	玲咲さん
AAB秋田朝日放送賞	6年	吉村	瞭佑さん
銀賞	6年	金田	紗幸さん

【書写の部】

八峰町教育長賞	3年	金田	陽音さん
銀賞	6年	佐藤	玲咲さん

作品は、能代市文化会館中ホールに、次の日時に展示されます。

9月21日(土) 13:00～19:00
9月22日(日) 10:00～15:00

おめでとうございます



2校時終了後の「すくすくタイム」、廊下の方から歓声が聞こえてきます。校長室からうかがうと、2年生全員でカメ吉の水槽を洗っていました。

今週の一枚

週一回の生活科の学習で、水槽の掃除を行いました。子どもたちは、一生懸命に水を洗っていました。おかげで、水槽がきれいになりました。

授業の様子から



【1年】算数

答えから式を考える学習です。問題文の「あわせた」という表現から、たし算の式になることを確認して、問題に取り組みました。



【2年】体育

マット運動に取り組んでいます。難しい動きも回数を経るごとにできるようになりました。準備や片付けも協力して行いました。



【3年】理科

昆虫のフィギアを見ながら、体のつくりを観察してまとめています。その後、タブレットを活用して、さらに詳しく調べました。



【4年】算数

終わりに0がつく数のわり算の仕方について話し合っています。自分の考えを活発に発表し、様々な考えの交流が見られました。



【5年】図工

宿泊体験学習での一場面を切り取って、水彩画を描いています。全員が集中して自分の作品と向き合っていました。よい作品ができそうです。



【6年】体育

2チームに分かれ、タグラグビーをしています。なかなか相手のタグを取れず苦戦していましたが、楽しそうでした。



来月、旧友に久しぶりに会うことに、少し気恥ずかしい思いもありますが、きっとすぐに学生の頃の関係に戻れることでしょう。この繋がりは私の宝物です。

他者との繋がりは、自分でつくっていかねばなりません。しかし、コロナ禍による直接的な交流の減少やSNSの普及、若い世代を中心としたタイムパフォーマンス志向により、他者との関わりが希薄になってきているといわれている現代、人間関係づくりが苦手な人にとっては、苦しいことなのかもしれません。無理して交流することで自分が疲れてしまったり、自分の「友達像」が相手への過度な期待となり、トラブルになってしまったりすることもあるでしょう。このような傾向は、大人よりも子ども同士の間の方が深刻なような気がします。

多様化の時代、お互いに異なった価値観を理解し、トラブルを回避したり関係を調整したりするには、コミュニケーションは大切です。しかし、前述のように、様々な思いをぐっと胸に抱え込み、悩んだり苦しんだりしているケースも少なくないはずです。

だからこそ、私たち大人が、子どもの声なき声に耳を澄まし、適切な距離感で関わっていけるよう手を差しのべる必要があるように感じます。

つぎ

今の時代の繋がり方

先日、大学のゼミの同期会を行う連絡を受けました。私が所属していたゼミは同期生が5名。大学卒業後も連絡を取り合い、頻度は多くは無いものの、今も交流が続いています。

残念ながら、一人は若くして亡くなりましたが、彼との思い出を振り返りながら、お互いの近況を語り合うのが会の習慣となっています。

思えば、全く見ず知らずの5名が顔を合わせてから37年。気忙しい中で疎遠になってしまいがちですが、この繋がりを続けてこられたのは、同じ志をもち、趣向が一致していたからであると考えています。

